

# Ecology

## トヨタは「トータルクリーン」をめざしています。

「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携させ、クリーンなクルマづくりをめざします。さまざまな環境目標を、バランスを取りながら達成し、総合的に環境性能の向上を図ります。



\*1. Eco-VAS [エコバス]: Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。

### 地球温暖化を防ぐために。

■温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。さらにVVT-iをはじめとする数々の先進技術の採用により、平成27年度燃費基準を達成しています。

■エコ運転中を知らせるエコドライブインジケーターランプに加えて、TFTカラーマルチインフォメーションディスプレイ内に、現状のアクセル開度とエコ運転の範囲を知らせるエコドライブインジケーターゾーン表示を採用しています。

#### エコドライブインジケーターゾーン表示



### 環境負荷物質を削減するために。

■水銀、カドミウム、六価クロムの使用を廃止するとともに、鉛の使用量を削減し、業界自主目標を達成しています。

### 都市環境のクリーン化のために。

■三元触媒、VVT-i、空燃比補償装置などの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得しています。



### リサイクル性向上のために。

■解体性向上マークを大物部品に設定し、取り外し性の向上を図っています。



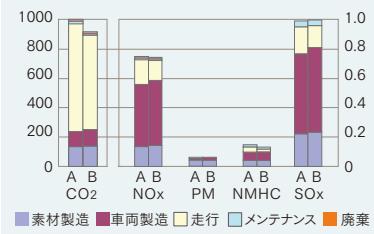
トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関TUV ラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

### TMUK アベンシス 環境仕様

車両仕様	車両型式	DBA-ZRT272W
エンジン	型式	3ZR-FAE
総排気量	(L)	1.986
駆動装置	燃料	無鉛プレミアムガソリン
	駆動方式	前輪駆動
	変速機	自動無段変速機(CVT)
環境情報	燃料消費率	JC08モード 燃料消費率 *1(国土交通省審査値) (km/L)
		14.6
	JC08モード	CO <sub>2</sub> 排出量 (g/km)
		159
	参考	「平成27年度燃費基準*2」をクリアしています。
	主要燃費改善対策	可変バルブタイミング機構、電動パワーステアリング、充電制御、自動無段変速機
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)	SU-LEV*3*4
	認定レベル値またはCO	1.15
	適合規制値(g/km)	NMHC 0.013
	NOx	0.013
車外騒音(加速/定常/近接)	(dB)	74 / 71 / 85
冷媒の種類(GWP値*5)/使用量	(g)	HFC-134a(1,430*6)/440
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*7)
	水銀	自工会2005年1月以降使用禁止*8)
	カドミウム	自工会2007年1月以降使用禁止)
	六価クロム	自工会2008年1月以降使用禁止)
リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり
関係	リサイクル材の使用	リサイクルポリプロピレン

### LCA \*9実施結果

A:従来型車 B:アベンシス



■自動車の生涯走行距離10万km(10年)を、JC08モードで走行した場合の結果です。  
●トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、評価結果は指数で示しています。また、CO<sub>2</sub>はtonレベル、それ以外の項目はkgレベルで排出されるので、指数を別に示しています。

\*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

\*2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。

\*3. JC08モード走行

\*4. 平成17年基準排出ガス75%低減レベル

\*5. GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)

\*6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求めております。

\*7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。

\*8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。

\*9. LCA:Life Cycle Assessment。資源採取→廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法で、ISO14040シリーズで国際標準化されています。

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

リサイクル料金表(単位:円)

型式	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	ショレッダースト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
全車	7,720	1,930	1,650	130	290	11,720

●リサイクル料金は17年4月時点の金額。

■リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者(譲渡人)は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者(譲受人)からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくは、取扱い販売店におたずねください。